

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 地図資料活用推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111 (内 291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,092 千円 (前年度予算額：1,656 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般 財源
前年度	1,656	0	0	0	0	0	200	0	1,456
要求額	3,092	0	0	0	0	0	200	0	2,892
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

所蔵する地図資料の保存と利活用のため、地図のデジタル化を進めるなど、地図資料を県民が利活用しやすい環境を整えるとともに、市町村図書館などの関係機関との連携を深める必要がある。

また、児童・生徒の地図活用能力育成を目的とした地図教室、地図作品展を開催し、全国展では12年連続で大臣賞や審査員特別賞を受賞している。

(2) 事業内容

1. 地図資料の提供

一般県民、研究者、郷土史家、県内市町村図書館、行政、報道機関、雑誌出版社 等

2. 地図作品展開催事業

夏休みわくわく地図教室の開催

児童生徒地図作品展の開催

3. 地図活用・保管事業

「地図活用研究会」の継続開催

4. 地図資料のデジタル化とホームページの充実

学校教育や社会教育で活用できる地図資料のデジタル化等

5. 出前授業の実施

児童生徒を対象とした地図資料を活用した授業の実施

教職員を対象とした地図資料の活用方法等の研修

(3) 県負担・補助率の考え方

後援・協賛団体より計 20 万の補助金を受ける予定。残りは県負担。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	140	審査委員、講師、地図活用研究委員等旅費
需用費	560	消耗品費、印刷製本費、会議費
役務費	43	郵送料、電話料
委託料	842	地図デジタル化委託料
備品購入費	1,507	プリンタ、スキャナ
合計	3,092	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

県民の古地図への興味関心は高くなりつつある。そのため、地図資料の作製や地図資料のデジタル化は、災害対策や町並み保存等、県民や行政の利活用に役立っている。

また、児童生徒地図作品展は、地図に対する活用能力等をも高める教育支援事業として定着している。

(2) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョンー基本方針 1 - 目標 1 「ふるさと岐阜」を学ぶふるさと教育の充実 - ⑦地図を活用したふるさと教育の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地図作品展や地図教室を開催することにより、地図に対する興味や関心、活用能力を高められる環境を提供する。また、地図資料のデジタル化や教育現場との連携を進めて、社会教育や学校教育に役立つ利活用環境を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
地図作品展応募校数(H28～累計)	0校 (H6)	216校 (H29)	334校 (H30)	436校 (R1)	940校 (R5)	46.3%
地図資料レファレンス件数(H28～累計)	0件 (H6)	949件 (H29)	1,337件 (H30)	1629件 (R1)	3,800件 (R5)	42.9%
地図資料のデジタル化点数(累計)	0点 (H12)	2,800点 (H13～29)	2,847点 (H30)	2,898点 (R1)	3,089点 (R5)	93.8%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（1）地図資料や図録のデジタル化、デジタル化した資料の複製提供

（2）夏休みわくわく地図教室の開催

・令和2年7月28日(火)・29日(水) 計画したが、コロナウイルスによる夏休み短縮のため中止。

・図書館HPに地図活用コンテンツ「地図となかよし」を掲載

（3）児童生徒地図作品展の開催

・受付 令和2年9月4日(金)～9月11日(金)

・展示 令和2年10月24日(土)～11月15日(日) 予定

（4）出前授業の実施（コロナウイルス対策のため実施せず。）

・令和2年度実績：「清流の国ぎふ 自宅で楽しむ文化芸術」に動画動画コンテンツを掲載（再生回数：合計459回再生）

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
毎年、県内の小・中・義・高・特別支援学校から多くの作品応募がある。
全国児童生徒地図優秀作品展に出品した第25回岐阜県地図作品展知事賞作品は審査員特別賞を受賞している。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	地図作品展は児童生徒の地図活用能力等が高められる教育支援事業として定着している。地図資料のデジタル化は、災害対策や町並み保存等、県民や行政の利活用に役立っており必要性が高い。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	地図作品展は毎年約300点を越える応募がある。 また、全国児童生徒地図優秀作品展では、岐阜県の作品が12年連続して大臣賞(最優秀賞)や審査員特別賞を受賞しており、作品の質は全国的にも高い。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	地図作品展のポスターの作成や受賞作品の写真撮影を担当者が作成するなど経費の削減に努めた。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
地図作品展では、より多くの学校から応募があるよう、市町村図書館などの関係機関との連携を深める必要がある。
地図資料の活用では、デジタル化した地図資料を教育現場が利活用しやすい環境を整える必要がある。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
県民の古地図への興味関心は高く、また、地図資料の利活用は教育支援事業としての必要性が高い。また、ふるさと教育等、地域の歴史・文化を知るための情報発信に努める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	